

## 2022 年度日建連 BIM セミナー 開催報告

### ■セミナー概要

- ・日時： 2022年6月17日（金）13時00分～16時45分
- ・場所： Zoom ウェビナー
- ・参加者 922名（申込1178名、出席率78.3%）

時間	内容	講演者
13:00～13:05	開催挨拶	BIM 部会長 曾根 巨充（前田建設工業）
13:05～13:10	活動概要	BIM 部会長 曾根 巨充（前田建設工業）
13:10～13:30	建築 BIM 合同会議の活動報告	本谷 淳（大林組）
13:30～13:35	施工 BIM 専門部会の取組み	本谷 淳（大林組）
13:35～14:05	仮設ライブラリ WG の活動報告	福田 篤（安藤・間） 福 拓也（鴻池組）
14:05～14:15	質疑応答	
休憩【14:15～14:25】		
14:25～14:55	BIM モデル承認 WG の活動報告	塩坂 靖彦（大林組）
14:55～15:25	BIM モデル活用 WG の活動報告	上中 登貴弥（清水建設）
15:25～15:35	質疑応答	
休憩【15:35～15:45】		
15:45～16:10	BIM 啓発専門部会の活動報告	三輪 哲也（竹中工務店）
16:10～16:30	建築 BIM 合同会議、 建築 BIM 推進会議対応 WG の活動報告	曾根 巨充（前田建設工業）
16:30～16:40	質疑応答	
16:40～16:45	おわりに	BIM 啓発専門部会主査 三輪 哲也（竹中工務店）



## ■曾根部会長開催挨拶より

今回のセミナーは、昨年度の BIM 部会の活動成果を広く世に問うものである。施工者は設計 BIM データが来なければ、生産現場で BIM を使えない、使う必要がないという風潮があった。それを打破するために、施工段階の BIM を施工 BIM と定義し、生産現場へ推進をしてきた。このようなステップを経て、部分最適から全体最適を考える段階に来ている。日建連の役割は重要であり、ようやくこのような議論ができる環境が整う時代になった。

## ■アンケートの回答より

### (1)セミナー参加者について

- ◇ 前回の 2021 年度に比べて申込者が 591 名→1178 名となり 99%増、参加者が 493 名→922 名となり、約 87%増となった。
- ◇ 所属会社では、設計事務所の参加があり(前年 0%→8%)、その他(官庁・自治体、ソフトウェアベンダー、研究・教育機関、デベロッパー・コンサル、その他)の参加が増えた。
- ◇ 所属部署では、施工(現場・施工)が減り、技術・設備・設計部署が増えた。

### (2)セミナーについて

- ◇ 講演時間は 53%が「ちょうどよかった」、46%が「長かった」との評価
- ◇ セミナーそのものの参考度合いは、84%が「参考になった」と回答し、前回の 88%から若干下がった。
- ◇ 講義資料について事前に資料を配布してもらいたいという意見が多数あった。

### (3)施工 BIM の取組みについて

- ◇ 施工 BIM の取組み状況は「会社として取り組んでいる」が 73%と前回の 67%より若干増えている。
- ◇ 施工 BIM の目的は、前回とほとんど変わらない傾向となったが、「図面作成省力化」については前回 34%→50%と増えた。
- ◇ 施工 BIM の適用工種は「仮設工事」「鉄骨工事」「RC 躯体工事」「設備工事」「施工図・製作図」が多く前回とほとんど変わらない結果となった。
- ◇ 施工 BIM の課題は「人材」「教育」「モデルの作成時間」については前回とほとんど変わらない結果となったが、「費用対効果」46%→59%、「データ連携」38%→53%、「ソフトの機能」22%→32%、「メリットが不明」16%→26%と前回に比べ 10%程度増加している項目が多数あった。